

私の1冊を紹介します

第25回 読書メッセージコンテスト

素敵な本と出逢いましょう

おすすめの本の紹介文を幅広い世代から募集する「読書メッセージコンテスト」。本との出逢いが広がることを願って、村が毎年実施しているコンテストです。

第25回「読書メッセージコンテスト」の審査結果を発表します。入賞作品は、昨年11月の審査会で決定し、12月下旬に交流センター「ふれ愛館」といいたて希望の里学園で表彰式を行いました。素敵なメッセージをご応募いただき、ありがとうございました。

第25回 読書メッセージコンテスト 審査結果

(敬称略)

	氏 名	おすすめの本・作者
最優秀賞	山田ゆり(いいたて希望の里学園9年)	『アフリカで、バッグの会社ははじめました』 江口絵理 著 さ・え・ら書房
優秀賞	花井咲心(いいたて希望の里学園5年)	『ぼくはうそをついた』 西村すぐり 作 中島花野 絵 ポプラ社
	佐藤黎姫(いいたて希望の里学園6年)	『かべのむこうになにがある?』 ブリッタ・ テッケントラップ 作 風木一人 訳 B L 出版
	福安夢七(いいたて希望の里学園7年)	『泣いちゃうわたしと泣けないあの子』 倉橋燿子 著 講談社
	赤石澤永輝(いいたて希望の里学園9年)	『妻が願った最期の「七日間」』 宮本英司 著 サンマーク出版
	高橋真弓(草野)	『峠』 司馬遼太郎 著 新潮社
佳作	鈴木愛輝(いいたて希望の里学園4年)	『トム・ソーヤの冒険』 マーク・トウェイン 作 那須田淳 翻訳 Gakken
	大島聖琉(いいたて希望の里学園5年)	『絵で読む広島原爆』 那須正幹 作 西村繁男 絵 福音館書店
	大島輝琉(いいたて希望の里学園9年)	『だから僕は大人になれない』 ぺいんと 著 KADOKAWA
	三本松里奈(いいたて希望の里学園9年)	『大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした』 クルベウ 著 ダイヤモンド社
	中島友子(比曽)	『なにわ介護男子』 宮川大助・花子 作 主婦の友社

普段自分では選ばない本との出逢いを楽しんでね。



受賞者の皆さんがおすすめした本は、交流センター「ふれ愛館」で貸し出します。お気に入りの1冊を見つけてくださいね。

読書メッセージを紹介します



最優秀賞 山田ゆりさん
(いいたて希望の里学園9年生)

あなたの「こうありたい自分」とは何だろう。お金持ちの自分か、それとも長寿を保つ自分か。そうなるために、私たちには何ができるだろう。「努力して無駄なことではない。」勇気をもたえる、この本を読んでみては。



『アフリカで、バッグの会社ははじめました』 江口絵理 著
さ・え・ら書房



優秀賞 花井咲心さん
(いいたて希望の里学園5年生)

質問です。皆さんは、うそはいいない事だと思えますか？もちろん悪い事に使うのはダメです。ですが、この本に出てくる男の子と女の子は、悪い事にうそは使っています。二人は、なんのためにうそをついたのでしょうか。



『ぼくはうそをついた』
西村すぐり 作／中島花野 絵
ポプラ社



優秀賞 高橋真弓さん
(草野)

戊辰の最中、和平案を講ずるも、時代は継之助を容赦せず、彼は新潟と福島の間を越え、只見で尽きる。そんな悲劇の英雄の死を無駄にしたくないものだ。彼の安らかな眠りと今後も続く平和な世の中を願わずにはられない。



『峠』
司馬遼太郎 著
新潮文庫

※版元品切れ、文庫版刊行中